

平成19年度 第5回 府中市男女共同参画推進懇談会  
議 事 録

1 日 時 平成20年1月24日(木) 午後7時～9時

2 場 所 女性センター 第1会議室

3 出 席

(1) 委員

小西(厚)委員長、打林委員、五座委員、後藤委員、小西(さ)委員、島野委員、  
平井委員、村野委員、矢島委員、吉田委員

(2) 事務局

川田市民活動支援課長、松井男女共同参画推進係長、江内田事務職員

4 傍聴者 なし

5 会議内容

(1) 開会

(2) 前回議事録の確認

承認

(3) 報告事項

諸橋副委員長、北川委員が欠席。

(4) 配布資料確認

資料1 各委員提出意見の一覧表

資料2 男女共同参画推進本部ニュース No.26

防災18 第39回 市政世論調査 「8 妊婦・乳幼児への災害時の支援」

防災19 防災情報新聞 No.127 「防災分野でこそ『男女共同参画』を活かす」

防災20 女性と地域防災のかかわり

防災21 「災害と女性のエンパワーメント」(清原桂子兵庫県知事講演内容)

防災22 「災害と女性のエンパワーメント」(シンポジウム内容)

(5) 協議事項

① 新たな取り組みを必要とする防災分野における男女共同参画の推進について  
今回の会議で出された意見は次のとおり。

- ・ 消防署員は、公務員の中でも最も女性の進出が遅れた分野であるが、現在は女性の消防署員も活躍している。
- ・ 消防団員は、非常勤の特別職(出勤が1回につき3000円、年に10万円程度の報酬がある)という立場。訓練は月に1～2回実施されていて、ほとんどボランティア感覚で務めている。

- ・ 女性の消防団員を誕生させたいと思っても、問題は、消防団に入りたいと思う女性がいるかどうかである。女性消防団員誕生ためには各種の努力が必要となる。
- ・ 消防団での女性の役割を考えることも必要である。単に「火を消すこと」だけが消防の役割ではなく、多様な仕事があるということも考えあわせる必要がある。
- ・ 現在の府中市の消防団員は、昔から府中に住んでいる、いわば土着の男性ばかりで構成されているが、新しく府中に住み始めた人たちは、男女にかかわらず、PTA等の活動にも積極的に参加している。お互いに乗り入れられる部分は多いと思われるが、土着の人と新住人とはあまり交流がないので「もったいない」気がする。
- ・ 自治会の防犯委員会をしているが、「防犯活動は男性がするもの」という雰囲気はなく、女性が同じ活動をしていることの違和感はない。
- ・ 自治会の活動などで注意すべきことは、女性が率先して飲食係を担当することで、男性も無意識のうちに女性が飲食係をするものだと認識してしまい、固定的な性別役割分担の再生産につながってしまうことである。
- ・ 若い層は「男だから～～、女だから～～」という意識が無くなってきているようにも思われる。
- ・ 災害時は本性で行動するので、普段の心がけにない行動や言動は、非常時には出てこない。
- ・ 授乳やトイレ等の配慮が必要との意見も理解できるが、もっとたくましく生きられるように教えることも重要である。
- ・ 備蓄等については、アレルギー対応(粉ミルク等)についても考慮する必要がある。

また、報告書の書き方等は次のとおりとする。

- ・ 企業や市民についての言及は、市が企業や市民に対して働きかけてほしいことを書くようにする。
- ・ 備蓄等、市がすでに対応していること、または、男女共同参画に関連しないものは報告書に入れないようにする。ただし、「すでに～～していると思いますが、女性の視点で～～ということについて云々」というように、すでに市が対応している部分に対しても、より注視してもらえそうな提言については積極的に行う。
- ・ 文体は「ですます調」に統一する。
- ・ 書式は、箇条書きは多用せず、文章で説明を行うこととする。
- ・ それぞれの項目の文章量は、特に制限を設けない。

## (6) その他

- ① 懇談会の本会議とは別に、報告書を作成するための起草委員会を2月13日(水)午後7時から開催することとした。起草委員会には、項目ごとの作成担当者(複数

の場合は項目ごとに1人以上)が参加するものとする。それぞれが事前に作成した文案は、2月12日(火)の正午までに事務局にメール・FAXなどで送付して、起草委員会当日には集まった文案を元に検討をする。

② 次回の会議日程について

日時：平成20年3月12日(水)午後7時～

場所：女性センター 第1会議室

(7) 閉会